

新・琵琶湖文化館整備事業

要求水準書付属資料15 展示ケースの仕様

事項	項目
共通事項	
製品基準	<p>①展示ケースの発注業者の選定に際して、十分な製造実績と経験を確認すること。</p> <p>②使用する主要部品、部材は日本工業規格 (JIS) 又は国際標準化機構 (ISO) に準拠すること。</p> <p>③展示ケース一式は JIS 表示認定、ISO9001 又は ISO14001 認定、又は同等の規格認定を受けた工場又は会社で管理して製作、設置を行うこと。</p> <p>④展示ケースの制作、搬入に当たっては詳細な製作図、工程表等を県の担当者に提出し、承諾を得ること。</p>
実績	<p>・ 過去5年間に重要文化財を有する国公立の博物館・美術館施設へ同等品エアタイト展示ケースの納品実績を有すること。</p>
空気環境調査	<p>・ 展示ケース納品後、展示ケース内のホルムアルデヒド、有機酸(ギ酸・酢酸)、アンモニア濃度について測定し報告すること。測定方法や対象汚染物質、室内推奨値の目安は、「付属資料 17_美術館・博物館のための空気浄化の手引き(平成31年3月)」で示された内容に準拠すること。測定の結果、基準値を上回った場合は吸着剤を設置するなど完工確認までは正措置を行い、その結果を県に報告すること。</p> <p style="text-align: center;">&lt;東京文化財研究所による基準値(参考値)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホルムアルデヒド 80ppb 以下</li> <li>・有機酸 170ppb 以下</li> <li>・アンモニア 30ppb 以下</li> </ul>
事前協議	<p>・ 展示ケースの仕様に関して、文化庁および文化財活用センターの事前協議が必要な場合は、展示ケースの仕様説明に関して資料の作成及び説明協力を行うこと。</p>
提出書類	<p>&lt;業者発注前&gt;</p> <p>過去5年間に、美術館・博物館への壁面展示ケースの納品実績を称する「実績証明書」</p> <p>JIS 登録書又は ISO 登録書(9001 及び 14001) の写し</p> <p>※今回の展示ケースを対象としたものに限る。</p> <p>空気環境試験の具体的実施方法</p> <p>&lt;制作前&gt;</p> <p>今回使用する合板、クロスのパッシブインジケーターによる有機酸・アンモニアの確認試験結果報告書</p>

	<p>&lt;納品後&gt;</p> <p>展示ケース内のホルムアルデヒド、<u>有機酸(ギ酸・酢酸)ギ酸</u>、アンモニア濃度の測定結果報告書</p> <p>エアタイト試験結果報告書</p>
修理対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常的な故障修理に対応する拠点が日本国内にあり、不具合が生じた場合は速やかに対処できるようにすること。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 壁面ケースと移動ケースはパネルの色等の意匠を揃えること。</li> <li>・ ガラスの清掃は専用クロス等を用いることも可とするが、専用クロス等のコストが過度にかからないように留意する。</li> <li>・ 接着剤及びシーリング材は、経年変化が少なく、半永久的にその性能が保証され、有害物質がないこと。</li> <li>・ 免震とはしない。</li> </ul>
壁面ケース	
寸法、 個別の仕様等	<p>壁面ケース A：展示室 1（天井高 6m）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 床高高 500、ケース内高（床高から）4,000 mm、奥行き 2,000 mmとする。</li> <li>・ 背面可動パネルにより奥行き 700～2,000 mmの間で可動</li> <li>・ ガラス下のパネル高 500～600 mm、ガラス面高 2,500～3,500 mm（この範囲内で任意に設定）</li> <li>・ ガラスの枚数は奇数とする。</li> <li>・ 大型の絵画作品を 2 幅以上展示するために、横幅は 8～15m程度確保する。</li> <li>・ 小型の文化財を展示する際はケースの上部の空隙を埋めるために、展示物の大きさに合わせてガラス面の露出を調節できる上下昇降パネルを設置する。</li> <li>・ ピクチャーレールは背面稼働パネル最上部と、ケース内床面から+3,000 mmの位置に設置する。</li> </ul>
	<p>壁面ケース B：展示室 1（天井高 6m）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 床高高 500、ケース内高（床高から）3,100 mm、奥行き 1,500 mm</li> <li>・ 背面可動パネルにより奥行き 700～1,500 mmの間で可動</li> <li>・ ガラス下のパネル高 500～600 mm、ガラス面高 2,200～2,700 mm（この範囲内で任意に設定）</li> <li>・ 展示寸法 2195 cmの日吉祭礼図（館蔵品）をすべて広げて展示できるようにするために、少なくとも一面は横幅 22m以上確保する。</li> </ul>
	<p>壁面ケース C：展示室 2（天井高 5m）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 床高高 500、ケース内高（床高から）3,100 mm、奥行き 1,200 mm</li> <li>・ 背面可動パネルにより奥行き 700～1,200 mmの間で可動</li> </ul>